

令和 **3** 年度

広島市教育センター
Hiroshima City Education Center

研修案内



初任者研修
「1年間の教育実践の歩みと今後の見通し」

各幼稚園・学校におかれましては、新型コロナウイルス感染症防止対策を踏まえた授業づくりや行事の運営など細やかに尽力されていることと思います。社会全体が「新しい生活様式」となっていく中、先生方一人一人がこれまでの学校の在り方を見つめ直し、「学校としての強みは何なのか。」「子ども達が学びにどのように向き合っていくのか。」など新たな教育活動の価値を見いだしておられるのではないのでしょうか。

さて我が国では、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けて人工知能（AI）やビッグデータの活用などの技術革新が急速に進んでいます。今まさに将来の予測が困難な時代を前にして、子ども達が自らの生涯を生き抜く力を培うことができるかどうか問われています。

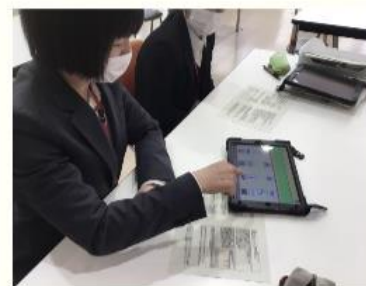
教育をめぐる状況が大きく変化する社会状況の中、中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』において、働き方改革やGIGAスクール構想の実現について示されました。小・中学校においてネットワーク環境が整備され、一人一台のタブレット端末導入に伴い、新たな授業が始まります。個別最適化を図り、先生方がこれまで培われてきた技術を基に、新たなテクノロジーを加えて新学習指導要領に示されている「主体的・対話的で深い学び」を実現することが求められています。

また、令和3年3月には広島市教育大綱が改定され、広島市の子どもが「心身ともにたくましく、思いやりのある人」として成長していくために、「家庭、学校、地域が連携・協働しながら、誰一人取り残さない『豊かで深い学び』による広島らしい教育を実現する」という新たな教育方針を定めました。

教育センターでは、こうした園・学校を取り巻く状況を十分踏まえながら「校長及び教員としての資質の向上に関する指標」に基づき、計画的に研修を実施していきます。特に三つの柱として、若手教員、推進リーダー、管理職の育成に継続して取り組むとともに、経験年次や職務に応じて求められる力を身に付けることができるよう、「子どもの理解」「授業づくり」「マネジメント力」の三つの内容に力点を置いて実施します。

研修方法として、従来の対面型研修においては、現代的な課題に対応することができるように事例に基づく協議・演習などを行っていきます。また効率的、効果的な研修を目指して研修動画配信やオンライン双方向での研修も併せて実施していきます。

今後も広島市の特色ある教育活動の推進に寄与するとともに、新たな教育活動を創造するための教育機関としての役割を担い、着実に取組を推進していきます。新たな時代を前にして、先生方と共に歩み続ける教育センターでありたいと考えます。本年度も積極的に教育センターをご活用ください。



特別支援学級等新規担当教員研修
「タブレット端末を用いた自身の実践紹介」